

◆ tekuteku 2015★菊竹建築展+上野・根岸企画（活動記録）◆

企 画■建築家の原点を訪ねて（その2）～菊竹清訓建築展から上野・根岸を歩く～

日 時■2015年1月15日（土）14:00～19:00

コース■国立近現代建築資料館／建築のこころ・アーカイブにみる菊竹清訓展（ギャラリートーク）～
上野公園・東京国立博物館ミュージアムショップ棟～上野寛永寺～鶯谷ささのや～根岸鍵屋

参加者■井手幸人、大竹 亮、鈴木丞治、橋本めぐみ（以上4名、敬称略）

企画主旨■湯島にある国立近現代建築資料館で「建築のこころ／アーカイブにみる菊竹清訓展」が開催されています（10/29～2/1）。初期のスカイハウスや江戸東京博物館、近年の九州国立博物館など極度に抽象化した造形の中に明瞭な思想を表現した名作の数々・・・このような菊竹氏の建築について、「メタボリズム（代謝建築論）」という中心思想から振り返るといふ魅力的かつ非常に興味深い企画展です。この資料館は、日本では珍しい建築専門の展示施設であり、昨年の坂倉準三展も充実した内容でしたので、今回も期待できそうです。終了後は、上野公園から根岸方面を散策する予定です。日本を代表する建築家の思想や作品に対する理解を深め、その原点を考えてみましょう。



<参加者の意見・評価>

1◆国立近現代建築資料館／建築のこころ・菊竹清訓展

評価A●当日のギャラリートークで、元スタッフだった原田さん、設立時から支えてこられた遠藤さんの話から、菊竹スクールのDNAとは何かが聞けて勉強になりました。

評価一●菊竹展は、図面の展示もさることながら、講演会（私の時は遠藤さん）が面白かった。具体的には、ブリジストン創業者の石橋さんとのやり取りや、事務所の生々しいやり取りや確執など。

評価B●菊竹建築の本質をようやく垣間見ることができました。今までは奇妙で奇抜な建築に過ぎないと思っていたのですが、因習にとらわれずに目指す理念を徹底的に追求した努力の必然的な結実だと理解しました。また、菊竹スクールから多くの建築家を輩出しており（内井昭蔵、長谷川逸子、伊東豊雄、仙田満、富永譲、大江匡、内藤廣…）、その影響力の大きさも驚きです。上野公園・不忍池を歩きながら、早くも取り壊されてしまった池之端のホテルコジマ（ソフィテル東京）の独特の造形を懐かしく思い出しました。



国立近現代建築資料館／エントランス



多数の来場者を集めた菊竹清訓展



上野公園・東京国立博物館と噴水広場



東京国立博物館の新ミュージアムショップ

2◆上野公園・東京国立博物館ミュージアムショップ棟

評価A●久しぶりに昼間に上野公園を歩きました。風が強く寒い日ではありましたが、天気がよく、来園者が多すぎず、落ち着いた午後、という雰囲気を感じました。噴水にプランターが設置されていたのは初めて見ましたが、枯れ木の中に花があって良かったです（でも、なくてもいい気もしましたが…）。東京国立博物館ミュージアムショップは、最初は仮設かと思いました。入場料フリーでショップに入れるのが普通ですが、建物自体が別に建てられて課金エリアから完全に分離されているのは珍しいと思いました。でも、休憩スペースもあり、散歩でふらっと寄っても利用できるのが嬉しいかも。

評価B●上野公園のバロック的空間構成の正面に（噴水を前に）据えられた国立博物館の重要性を改めて認識しました。新しいミュージアムショップは、小さいながらも明るく透明で、開放性のある心地よい空間でした。

評価B●ミュージアムショップは仮設的な建物ですが、博物館に入らなくてもグッズを購入できるのはいい。

3◆鶯谷・ささのや

評価A●駅前の狭い敷地に大勢の人ばかり。店頭の焼鳥が人々を引き寄せ、路上の仮設テーブルにもあふれ出す。店に入ると意外に奥が深く、落ち着ける。美味格安の串が次々に並び、杯を傾けるピッチも上がる。1時間で十分に満足できる。大衆酒場の原点がここにある。（小学校の課外学習の対象になっていたのは驚いた！）

評価A●鶯谷といえばこの店、安い、うまい！ いつ行っても人ばかり。

評価一●とても雰囲気のある焼鳥屋さんで、匂いでお客さんを集めております。にんにく焼きが絶品でした。

評価A●平日と比べて混雑していないものの、あの時間から賑わっているのが、やはり「ささのや」だと思います。大人との関わりが深いのは言うまでもないのですが、（壁に貼られた）地元の小学生の作文から、地元に着していることが感じられ、新しい発見になりました。

4◆根岸・鍵屋

評価A●表通りから一步入った住宅街にある隠れ家風のお店。いつも迷って行きつけず、たどり着いても満員御礼なのですが、今回10年ぶりに中に入ることができました。昔風の内部造作や小粋で美味な逸品の数々など、とても楽しめました。しかし、人気のありすぎが難点ですね。

評価A●こちらも既に満員で、人気のお店であることがうかがえました。梁の太さや色、カウンターのつくり、ポスターやその他の目に付くもの全てが心地いい雰囲気のお店でした。雰囲気を味わいながら飲むにはもってこいのお店ですね。

評価一●歴史を感じさせる店の佇まいと洗練された客層があいまって醸しだされる独特の雰囲気が魅力的です。

評価C●入ると「2時間ですけどいいですか？」とアルバイトのお兄さんに聞かれる。下町の「粋」を味わえる店だと思っていたのですが、残念・・・。



路上まであふれ出す鶯谷ささのやの賑わい



ひっそりと暖簾がかかる根岸鍵屋の佇まい

5■その他、今回の企画に対する感想など

●菊竹建築展から上野公園、そして鶯谷・根岸へというディープな（迷走気味の）企画でしたが、短時間ながらしっかりと楽しむことができました。2軒ハシゴしてまだ7時とは！テンポの速さもまた魅力でした。

●団体旅行の旅館からラブホテル街へ変貌した鶯谷。最近は利用客も減り、街は陰りをみせている。今後どのように変貌していくか楽しみな場所です。

●土曜日は皆様と大変楽しい時間を過ごすことができ感謝しております。おかげさまで鶯谷のディープな夜を満喫することができました。今年も大いに歩きたいと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

●先日はありがとうございました！ 私も初鍵屋でしたが、本当にいい雰囲気です。リピートしたくなるお店ですね。（途中の上野公園から）うまく合流できて良かったです。引き続き、よろしくお願いします。